

横山幸次

区政報告
ニュース

707

2018年9月 9日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメールアドレス
kouji.office@gmail.com

町屋事務所のメールアドレスを変更しました。
kouji.office@gmail.com
です...

区議会9月会議がはじまります (9/12~10/17)

荒川区の教育事情

就学援助入学準備金が小中とも2月支給へ 準要保護の金額も引き上げ…願いが実現!



区民のみなさんの切実な声で区政を動かす...
義務教育無償の実現に向けて引き続き負担軽減を
日本共産党区議団は、小中の学校の就学援助「入学準備金」が学校に入ってから7月の支給では制服やランドセルなどの購入に間に合わない...入学前に支給することを繰り返し求めてきました。
中学校では今年度から2月支給が実現していました。今回、小学校入学についても前倒しで2月に支給することになりました。

9月中旬に「学校案内」に申請書および案内書を同封することになっていきます。
また、支給額についても、準要保護も要保護と同じ水準に
するよう、質問や予算修正を通じて求めてきました。これに対し、今年度から準要保護世帯も小学校40,600円、中学校47,400円とそれぞれ16,710円、20,540円引き上げています(左表参照)。
こうした改善はありますが、就学援助の支給金額が実際に必要な費用に見合っていない。そのため
要保護含めて就学援助の

荒川区就学援助・入学準備金			
年度	区分	要保護	準要保護
2018年度	小学	40,600円	40,600円
	中学	47,400円	47,400円
2017年度	小学	40,600円	23,890円
	中学	47,400円	26,860円

要保護 = 生活保護世帯
準要保護 = 荒川区は生活保護基準の1.2倍までの収入世帯

申請書を返送用封筒で郵送
〒116-8501 (住所不要)
荒川区役所3階学務課学事第二係へ
問い合わせ 3802-3111内線3338

9月区議会...本会議質問について

共産党は2名が質問にたちます
9月12日(水)午後1時から
小林行男議員
9月13日(木)10時から
斉藤くに子議員
ぜひ傍聴にお出かけください。区役所5階議会事務局で傍聴券を受け取ってください。

支給金額を実態に合わせて引き上げる 就学援助を利用する基準を生活保護の現行1.2倍から1.5倍に引き上げるなど求めていきます。
学校給食無料化の実現へ
同時に学校給食無料化についても、国に対して実施を迫るとともに、区独自に実施するよう求めていきます。
貧困がひろがる中で子ども食のセーフティネットなり、子どもの健康や発達を支える学校給食の果たす役割がますます大きくなっていきます。無償化は、子どもの貧困の改善にも大きな役割を果たすことが期待されます。



大きな被害をもたらした台風21号が去り、台風一過の晴れ渡った空を眺めていた矢先、今度は震度6強の極めて強い地震が北海道を襲いました。思い起こすと今夏は、大阪北部地震、西日本豪雨、災害といえる記録的な酷暑、台風21号、そして今回の地震。災害列島、災害大国と言われるまでもなく、古来より我が国の先人は、自然現象から身を守る術を学んできました。古文書、地域伝承などに記された数多くの記録は大事です。政治はなにに備えるか? 「北の脅威」など叫んで巨額の血



台風も地震もライフラインが大きな被害を受けました...

税を兵器購入に投入するが、災害への対応ははつきり言ってお粗末です。「河川改修の予算が不足」「ライフラインの耐震化が進まない」...など上げればきりがありません。一連の災害は、政治に求められるものは何かを突きつけています。(横山幸次)

まづの話題あれこれ
台風一過...とはいえ、相次ぐ自然災害が列島各地でこの国は古来よ災害と向き合ってきたはずなのですが...

裏面 9月議会・共産党区議団質問項目...など

定例法律相談会

10月1日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。
生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

9月会議…共産党区議団の質問項目です

小林行男区議の質問項目 (9月12日午後1時から…予定)

1.くらしと営業を守る対策について

来年10月予定の消費税増税の影響についての認識。
消費税増税中止を政府に求め、区民のくらし応援の予算編成を。
制度融資や家賃助成などの拡充、小規模事業者設備投資補助改善など
区内創業環境を抜本的拡充。

2.子どもの貧困対策について

子どもの生活実態調査と具体的な改善計画を策定。
子育て世代向けの都営住宅新規供給、区として家賃補助制度を創設。
国に学校給食無償化を求め、区として無償化施策の実施を。



3.高齢者の福祉の増進について

シルバーカーやリハビリシューズなど日常生活支援用具支給拡大を。
シルバー人材センターの配当金の最低賃金確保を

4.自然災害対策における情報伝達について

行政防災無線の改善とともに防災ラジオなど導入を。
避難誘導・避難所における障害者など支援強化を。



5.平和と住民の安全を守るために

核兵器禁止条約の批准を国に求めること。区長が「ヒバクシャ国際署名」にサインをすること。

特殊作戦機オスプレイの米軍横田基地など配備に反対すること。

子どもたちの被爆地訪問など平和事業の拡大すること。

斎藤くに子区議の質問項目 (9月13日午前10時から…予定)

1.健康で文化的な最低限度の生活を保障するために

生活保護基準引き下げの影響調査と実態を政府に上げること。
保護の基準引き下げで生活保護廃止になる世帯などへの支援を。
生活保護申請を諦める人がないようにホームページやしおりを見直すこと。また医療扶助単給について区民に具体的に周知すること。
熱中症対策エアコン助成は来年も実施すること。また都営住宅へのエアコン設置を東京都に求めること。

生活保護の夏期手当を政府に求め、区として法外援助を行うこと。また本人非課税高齢者には7月8月に電気代補助を創設すること。

2.保育の質と安全確保、保育要求に応えるために

産休代替や延長保育は常勤で。保育士を確保し病欠などに対応すること。

0才児11時間開所は常勤保育士の増員と私立保育園への財政的補助で産休あけから実施すること。

3.高齢者の認知症予防と聴こえの改善について

高齢者調査で「聴こえに障害を感じているか」の項目を設けること。
健康診査の項目に聴力検査を入れるよう、国に働きかけるとともに、区として65才以上の健康診断に聴力検査を加えること。



4.東京女子医大移転後の医療機関誘致について

誘致実現に、東京都の責任も明確にして連携を密にすること。
災害拠点病院の体制、現診療科目継続や新病院の役割、現在求められる医療と介護の連携など区の方針をはっきりさせて臨むこと。
医師、看護師の確保を医療機関任せにせず区も協力すること。

5.荒川の暮らしに息づいた観光文化行政について

伝統工芸を重要な観光文化資源と位置づけ発信すること。
若手クリエイターに活躍の場を提供下町荒川の観光の一つとすること。
息づいている生活や仕事が観光文化に繋がる発信の仕方を考えること。
東京芸術大生の発表の場をつくり区民との文化芸術交流を広げること。



子育て支援アプリ 10月から導入へ

子育てに関する必要な情報が、いつでもどこでも、手軽に入手できるようになります。



- 妊娠管理 (妊婦健診記録・体重管理グラフ)
- 予防接種のスケジュール管理と通知 (事前お知らせ・忘れ防止アラーム)
- 定期健診管理 (子どもの成長記録をグラフで確認)
- 地域情報 (区内保育園、幼稚園、病院、公園等の地図ナビ・区内イベント情報・育児情報や手続きの通知)
- 英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語に対応します。
- 利用者は無料でダウンロードできます。
- 区はイベント情報等をプッシュ通知 (アプリの側から自動的に、表示や音で通知する機能) で配信します。
- 経費は月5万円年間60万円

お薬バッグで飲み残しなどを管理します

病院で処方してもらったお薬の飲み忘れなどで残ってしまうことがあります。1ヶ月、2週間後にまた薬をもらい増え続けます。また複数の医療機関を受診し、同じ薬を処方されたり、薬の組み合わせが悪く副作用が起きることもあります。

高齢者には飲みづらい薬もあります。お薬手帳で管理していますが、さらに薬剤師の訪問 (11月上旬から) やお薬バッグで薬局に持参し (10月上旬から) 服薬管理をすすめます。



今週のデータ 消費税10%増税はくらしと経済を破壊

すことは明白です。ら
増税は暮らしと経済を破壊する構えです。消費税を安倍政権は強行する構えです。ら
増税は暮らしと経済を破壊する構えです。消費税を安倍政権は強行する構えです。ら

消費税増税で家計消費は年間42万7500円減

